

下地高齢者みまもりネット

下地町内会

令和4年10月5日、前年度から、検討をしていました、「下地高齢者みまもりネット」が、発足し、早速、活動をはじめました。

1. 下地高齢者みまもりネットとは、

下地高齢者みまもりネットとは、地域の人たちが、勝手連的に、さりげなく、高齢者を見守るシステムです。

2. みまもりの対象となるのは誰？

対象となる高齢者は、近くに、安否確認ができる家族や親族がおられなく、非常時に対応が遅れがちになることが懸念される、「**75歳以上のおひとり様**」としています。

みまもりの対象者は、民生委員、親好会、町内会で精査して、随時、リストアップしていきます。(令和5年度の要みまもり対象者は、21名となっています。)

3. みまもりをするのは誰？、何をするの？

みまもり活動は、このみまもりネットの趣旨に賛同していただいた、基本的に、対象者の「向こう三軒両隣」の方で、協力していただける方の中から、対象者1人に対して、**2名以上の方々に、協力員**となっただけ、下記の簡単なことをお願いしています。

- ① 協力員は、時々、夜、電灯がついているか？を確認。(グランコート長楽寺は、郵便物の確認)
- ② 異変を感じたら、民生委員又は、町内会長に報告する。

尚、誰が、みまもり対象者であるかは、一部の関係者のみが把握し、協力員の方々には、対象者に、協力員が、見守りをしていることを知らせないように、お願いしています。

4. 異変時の対応は、誰がするの？

みまもりネットで、異変が報告された場合には、民生委員、町内会長が対応することとし、必要に応じて、行政(包括支援センター、警察等)に支援を要請します。協力員は、あくまで、民生委員、又は、町内会長に報告する役目だけを担うシステムとして、協力員の精神的な負担を軽減しています。

令和5年11月作成